

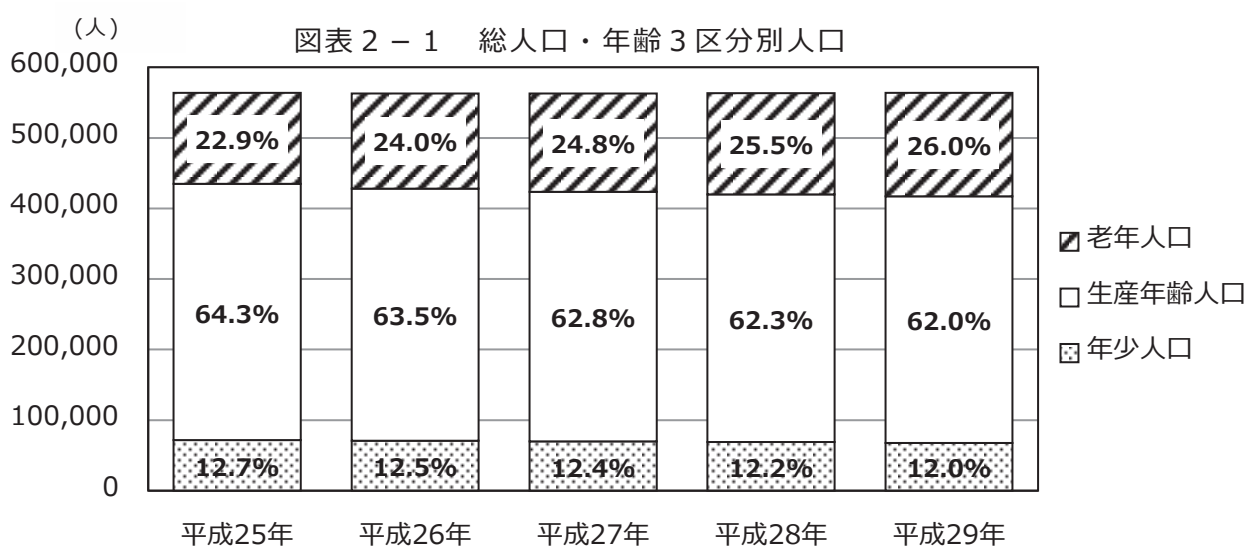
第2章 高齢者を取り巻く状況

1 高齢者数等の状況

(1) 総人口・年齢3区分別人口

○本市の年齢3区分別人口の推移を見ると、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は微減傾向にあります。老年人口（65歳以上）は一貫して増加しており、平成25年から29年までに17,214人増加しています。

○それに伴い、老年人口の比率も増加し、平成29年には26%に達しました。年少人口は平成25年から29年までに4,163人減少しており、本市の少子高齢化が本格化していることがうかがえます。



	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
■ 老年人口	129,381	135,012	139,609	143,464	146,595
□ 生産年齢人口	362,826	357,351	353,515	351,214	349,418
□ 年少人口	71,688	70,577	69,657	68,649	67,525
総人口	563,895	562,940	562,781	563,327	563,538

資料：住民基本台帳（各年9月末時点）〔単位：人〕

※データの処理については、小数点以下第2位の四捨五入により、各項目の合計値が100.0%にならない場合があります。

(2) 認知症高齢者数

○認知症高齢者数（要支援認定・要介護認定*¹⁸を受けた第1号被保険者のうち、日常生活自立度*¹⁹Ⅱ以上）は年々増加しており、平成29年度で13,314人となっています。

図表2-2 認知症高齢者数（日常生活自立度Ⅱ以上）

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
10,825	11,311	11,746	12,080	12,698	13,314

資料：福祉部介護保険課（各年度9月末時点）〔単位：人〕

(3) 地域資源の状況

○地域資源の状況は下表のとおりとなっています。

図表2-3 地域資源の状況

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①民生委員・児童委員* ²⁰		436	438	443	445	445	449
②町会・自治会	団体	563	564	566	572	575	578
	加入世帯	157,700	156,633	156,264	155,709	154,323	154,059
③NPO法人		271	274	279	289	285	279
④ボランティアセンターへのボランティア登録	団体	201	202	213	234	255	265
	個人	492	436	446	471	473	417
⑤高齢者ボランティア・ポイント制度ボランティア登録者		1,180	1,464	1,729	2,099	2,288	2,548
⑥ふれあい・いきいきサロン		85	91	105	113	132	140
⑦シニアクラブ		225	218	210	209	210	205

①民生委員・児童委員 資料：福祉部福祉政策課（各年度4月1日時点）〔単位：人〕

②町会・自治会 資料：市民活動推進部協働推進課（各年度6月1日時点）〔単位：団体、世帯〕

③NPO法人 資料：市民活動推進部協働推進課（各年度3月末時点、平成29年度は12月4日時点）〔単位：団体〕

④ボランティアセンターへのボランティア登録 資料：社会福祉協議会ボランティアセンター（各年度3月末時点、平成29年度は12月1日時点）〔単位：団体、人〕

⑤高齢者ボランティア・ポイント制度ボランティア登録者 資料：福祉部高齢者いきいき課（各年度4月1日時点、平成29年度は10月1日時点）〔単位：人〕

⑥ふれあい・いきいきサロン 資料：福祉部高齢者いきいき課（各年度3月末時点、平成29年度は9月末時点）〔単位：か所〕

⑦シニアクラブ 資料：福祉部高齢者いきいき課（各年度3月末時点、平成29年度は9月末時点）〔単位：クラブ〕

*¹⁸ 要介護認定（ようかいごにんてい） 139 ページ参照

*¹⁹ 日常生活自立度（にちじょうせいかつじりつど） 137 ページ参照

*²⁰ 民生委員・児童委員（みんせいいいん・じどういいん） 138 ページ参照

(4) 日常生活圏域*²¹別の高齢者数

○日常生活圏域別に高齢者の人口を見ると、圏域内で高齢者人口が1万人を超えているのは、左入、中野、南大沢、長沼、堀之内の5圏域です。
 ○圏域別の高齢者の割合は10の圏域で市平均の26.0%を上回っています。
 ○最も高齢化が進んでいる恩方圏域では高齢者の割合は34.8%に達し、めじろ台、長沼、川口、元八王子、長房、もとはち南の6圏域でも30%台となっています。一方、南大沢、片倉の2圏域では、高齢者の割合は10%台となっています。

図表2-4 日常生活圏域別の高齢者数

日常生活圏域	八王子 ビジョン 2022 (6地域)	圏域内人口	圏域内 高齢者人口	高齢者の 割合
(1) 旭町	中央	42,352	9,558	22.6%
(2) 高尾	西南部	27,455	7,531	27.4%
(3) 左入	北部	48,098	12,153	25.3%
(4) 中野	中央	40,901	11,596	28.4%
(5) 南大沢	東部	55,582	10,525	18.9%
(6) めじろ台	西南部	25,082	7,744	30.9%
(7) 長沼	東南部	37,749	11,726	31.1%
(8) 川口	西部	29,021	8,965	30.9%
(9) 元八王子	西部	23,872	7,327	30.7%
(10) 片倉	東南部	44,164	8,208	18.6%
(11) 堀之内	東部	55,051	11,959	21.7%
(12) 長房	西南部	18,728	6,494	34.7%
(13) 子安	中央	26,551	6,396	24.1%
(14) もとはち南	西部	27,895	8,671	31.1%
(15) 寺田	西南部	29,154	8,092	27.8%
(16) 大横	中央	15,127	3,822	25.3%
(17) 恩方	西部	16,756	5,828	34.8%
八王子市全体		563,538	146,595	26.0%

資料：住民基本台帳（平成29年9月末時点）〔単位：人〕

※高齢者の割合の網かけは、八王子市全体の割合よりも高い圏域を示しています。

*²¹ 日常生活圏域（にちじょうせいかつけんいき） 137 ページ参照

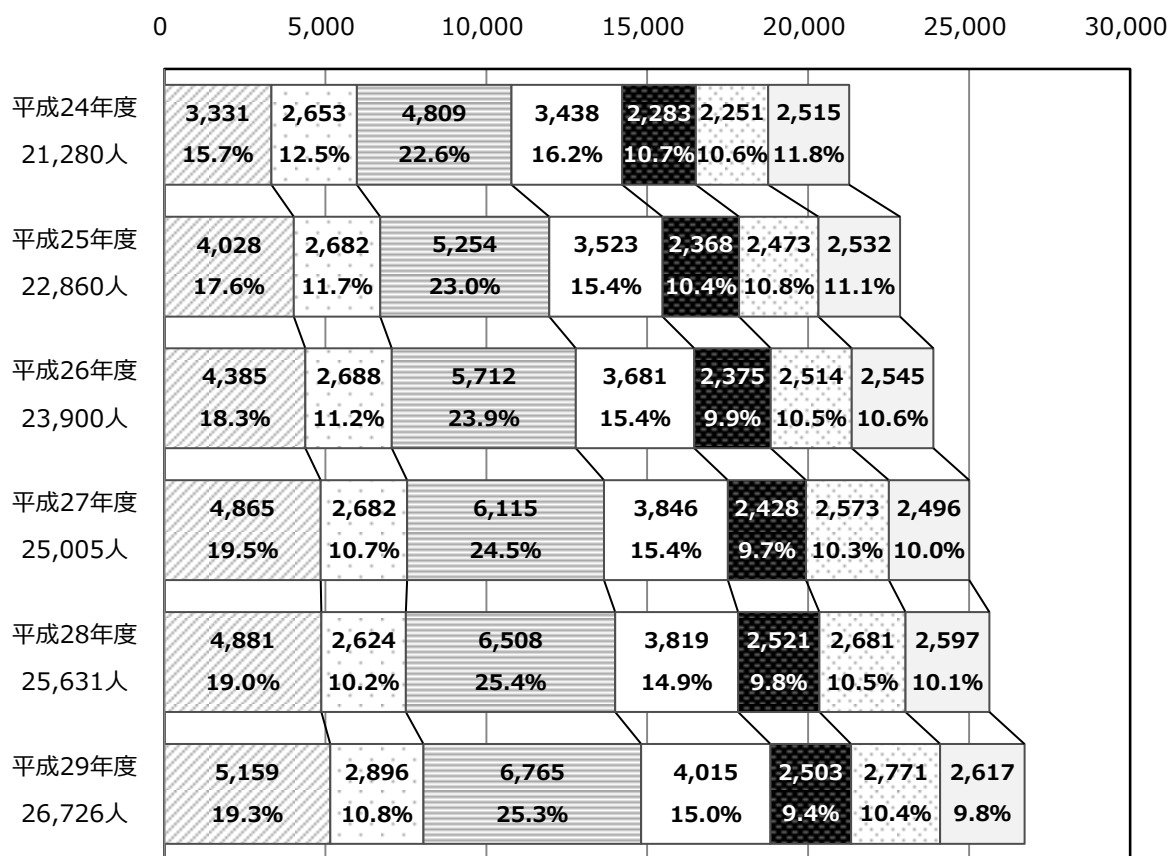
2 介護保険事業の状況

(1) 要支援認定者^{*22}・要介護認定者^{*23}数

○介護保険において要介護認定を受けた方（要支援認定者・要介護認定者）の数は、年々増加しており、平成24年度の21,280人から平成29年度は26,726人と、過去5年間で5,446人（25.6%）増加しています。

○過去5年間で最も増加しているのは、要介護1の認定者で、平成24年度の4,809人から平成29年度は6,765人と、過去5年間で1,956人（40.7%）増加しています。

図表2-5 要支援認定者・要介護認定者数



□ 要支援1 □ 要支援2 □ 要介護1 □ 要介護2 ■ 要介護3 □ 要介護4 □ 要介護5

資料：福祉部介護保険課「介護保険事業報告」（各年度9月末時点）〔単位：人〕

※データの処理については、小数点以下第2位の四捨五入により、各項目の合計値が100.0%にならない場合があります。

*²² 要支援認定者（ようしえんにんていしゃ） 139 ページ参照

*²³ 要介護認定者（ようかいごにんていしゃ） 139 ページ参照

図表2-6 要支援認定者・要介護認定者数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
要支援1	3,331	4,028	4,385	4,865	4,881	5,159
要支援2	2,653	2,682	2,688	2,682	2,624	2,896
要介護1	4,809	5,254	5,712	6,115	6,508	6,765
要介護2	3,438	3,523	3,681	3,846	3,819	4,015
要介護3	2,283	2,368	2,375	2,428	2,521	2,503
要介護4	2,251	2,473	2,514	2,573	2,681	2,771
要介護5	2,515	2,532	2,545	2,496	2,597	2,617
合計	21,280	22,860	23,900	25,005	25,631	26,726

資料：福祉部介護保険課「介護保険事業報告」（各年度9月末時点）〔単位：人〕

（2）介護サービス利用者数

介護サービス利用者数は年々増加し、1か月平均の利用者数は、在宅サービスでは平成24年度の37,119人に比べ、平成29年度は45,426人と、22.4%増加し、施設・居住系サービスも平成24年度の4,553人に比べ、平成29年度は5,584人と、22.6%増加しています。

図表2-7 介護サービス利用者数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
在宅サービス	37,119	40,521	43,149	46,079	44,029	45,426
施設・居住系サービス	4,553	4,712	4,930	5,027	5,162	5,584
施設サービス	3,136	3,266	3,411	3,429	3,513	3,744
居住系サービス	1,417	1,446	1,519	1,598	1,649	1,840
合計	41,672	45,233	48,079	51,106	49,191	51,010

資料：福祉部介護保険課（平成29年度は見込み）〔単位：人〕

図表2-8 要支援・要介護度別サービス利用者数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
要支援1	1,563	1,926	2,068	2,414	1,574	860
要支援2	1,693	1,705	1,737	1,763	1,267	917
要介護1	3,613	4,077	4,545	4,964	6,419	6,735
要介護2	3,186	3,262	3,426	3,573	4,165	4,285
要介護3	2,205	2,236	2,319	2,371	2,687	2,719
要介護4	2,064	2,273	2,368	2,395	2,644	2,742
要介護5	2,141	2,192	2,233	2,196	2,352	2,286
合計	16,465	17,671	18,696	19,676	21,108	20,544

資料：福祉部介護保険課「介護保険事業報告」（各年度9月末時点）〔単位：人〕

※サービス利用が一部重複するため、2つの表は合計が一致しません。

(3) 介護サービス事業所数

介護サービス事業所数は、平成24年度の632事業所と比べ、平成29年度では747事業所と115事業所増加しています。

図表2-9 介護サービス事業所数

	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
訪問介護	104	121	122	130	128	130
訪問入浴介護	9	9	8	9	9	8
訪問看護	19	19	22	27	29	27
訪問リハビリテーション	病院・診療所等については、指定を辞退しない限り指定があったものとみなされます（みなし指定）。					
居宅療養管理指導						
通所介護	126	151	166	184	70	73
通所リハビリテーション	16	16	15	11	12	12
短期入所生活介護	26	27	28	28	28	29
短期入所療養介護	14	13	14	12	13	13
特定施設入居者生活介護	23	25	24	24	24	24
福祉用具貸与	41	41	39	39	38	35
特定福祉用具販売	40	40	38	36	36	35
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	－	1	3	3	3	3
夜間対応型訪問介護	4	2	2	2	2	2
地域密着型通所介護	平成28年4月1日より新設サービス				105	95
認知症対応型通所介護	14	13	13	14	14	17
小規模多機能型居宅介護	5	5	8	9	13	14
認知症対応型共同生活介護	18	18	21	22	22	22
地域密着型 特定施設入居者生活介護	－	－	－	－	－	－
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	2	2	2	2	2	2
看護小規模多機能型居宅介護	－	－	－	－	1	1
居宅介護支援 ^{*24}	123	133	145	153	150	150
介護予防支援	12	15	15	15	16	17
介護老人福祉施設	22	22	24	24	24	25
介護老人保健施設	8	7	7	7	7	8
介護療養型医療施設	6	6	6	5	6	5
合計	632	686	722	756	752	747

資料：福祉部高齢者いきいき課（各年度4月1日時点）〔単位：事業所〕

※各事業の概要は第5章に掲載している「サービス利用量の見込み」に掲載しています。

^{*24} 居宅介護支援（きょたくかいごしえん） 134 ページ（ケアマネジメント）参照

(4) 指定介護事業者に対する指導監督

平成18年の介護保険法の改正により、市区町村に指導・監督の権限が移譲されて以来、指定介護事業者に対する実地検査等を実施しています。

平成29年度においては、居宅サービスは380事業所、地域密着型サービス事業所は70事業所及び施設サービス事業所は15施設を対象に実地検査を実施する予定です。

図表 2 - 10 実地検査の実施状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
居宅サービス	109	97	106	430	382	380
地域密着型サービス	29	36	40	8	72	70
施設サービス	0	0	6	16	15	15
合計	138	133	152	454	469	465

資料：福祉部指導監査課〔単位：事業所及び施設〕（平成 29 年度は予定数）

(5) 標準給付費^{*25}

標準給付費は、各サービスともに年々増加し、平成24年度の約290億円に比べ、平成29年度では約364億円と、約1.3倍に増加しています。居宅サービスは平成24年度の約153億円に比べ、平成29年度では約173億円と、約1.1倍に増加しています。地域密着型サービスは平成24年度の約18億円に比べ、平成29年度では約47億円と、約2.6倍に増加しています。施設サービスは平成24年度の約104億円に比べ、平成29年度では約121億円と、約1.2倍に増加しています。

図表 2 - 11 標準給付費

	居宅サービス	地域密着型サービス	施設サービス	その他	合計
平成 24 年度	15,290,015	1,769,958	10,422,029	1,527,088	29,009,090
平成 25 年度	16,362,069	1,817,621	10,900,598	1,659,507	30,739,795
平成 26 年度	17,347,178	2,019,808	11,435,440	1,774,860	32,577,286
平成 27 年度	18,010,703	2,237,474	11,359,405	1,882,080	33,489,662
平成 28 年度	16,225,267	3,863,320	11,546,459	1,976,522	33,611,568
平成 29 年度	17,327,404	4,713,152	12,050,311	2,311,654	36,402,521

資料：福祉部介護保険課〔単位：千円〕（平成 29 年度は当初予算額）

^{*25} 標準給付費（ひょうじゅんきゅうふひ） 138 ページ参照

(6) 地域支援事業費

地域支援事業費は、平成24年度の約6.5億円に比べ、平成29年度では約26.6億円と、約4.1倍に増加しています。平成27年度から始まった介護予防・日常生活支援総合事業は、介護予防給付及び介護予防事業の移行に伴い、平成29年度では約14.7億円と、平成28年度の約8.2億円から約1.8倍に増加しています。包括的支援事業は平成24年度の約4.9億円に比べ、平成29年度では約10.5億円と、約2.1倍に増加しています。任意事業*²⁶は平成24年度の約0.7億円に比べ、平成29年度では約1.3億円と、約1.9倍に増加しています。

図表 2 - 12 地域支援事業費

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
介護予防・日常生活支援総合事業	－	－	－	18,096	815,536	1,473,988
介護予防事業	82,931	101,211	90,022	82,714	－	－
包括的支援事業	492,167	521,142	547,838	582,056	729,735	1,054,627
任意事業	71,470	95,371	95,227	98,751	106,200	133,365
合計	646,568	717,724	733,087	781,617	1,651,471	2,661,980

資料：福祉部介護保険課〔単位：千円〕（平成 29 年度は当初予算額）

*²⁶ 任意事業（にんいじぎょう） 137 ページ参照

(7) 高齢者あんしん相談センターへの相談件数

高齢者あんしん相談センターに寄せられる相談件数は年々増加し、平成29年度（上半期）は45,327件となっています。内容としては「介護保険、その他の保健福祉サービス*²⁷に関すること」が9割以上を占めています。

図表2-13 高齢者あんしん相談センターへの相談件数

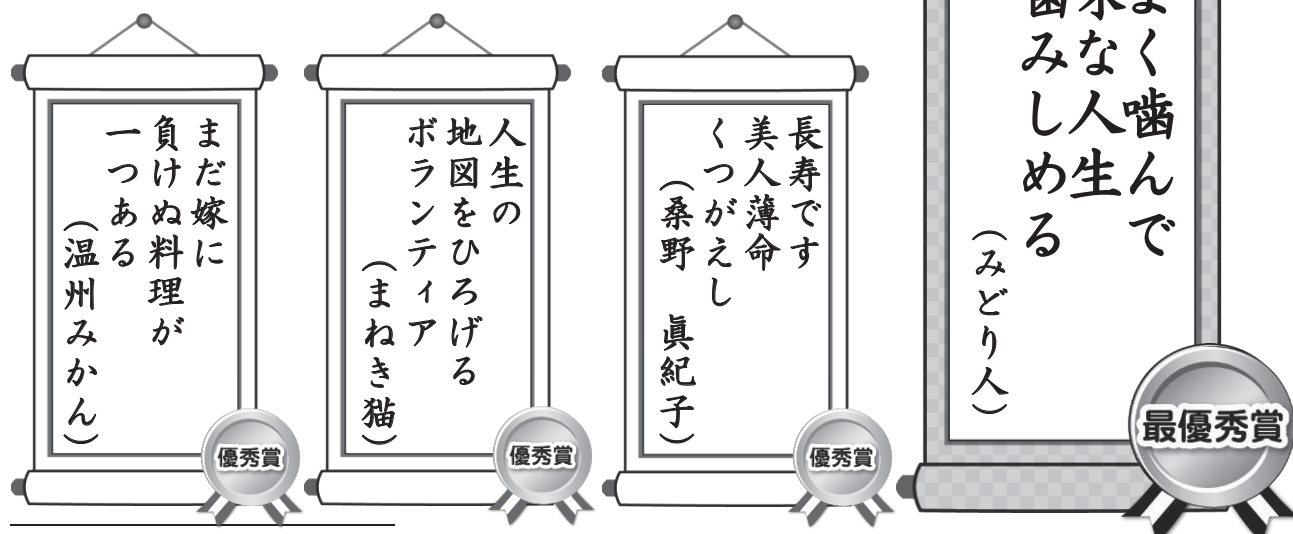
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
介護保険、その他の保健福祉サービスに関すること	32,806	46,191	54,648	64,292	69,709	42,276
権利擁護（成年後見制度等）に関すること	1,184	1,835	1,851	2,063	2,570	1,574
高齢者虐待に関すること	1,144	1,334	1,769	2,198	2,135	1,477
合計	35,134	49,360	58,268	68,553	74,414	45,327

資料：福祉部高齢者福祉課〔単位：件〕（平成29年度は上半期の実績）

第三回

「八王子市いきいき長寿川柳大賞」

川柳を作るにはネタ探しが重要です。ネタ探しをすることになると頭を使います。頭を使うことは、すなわち脳を刺激することですので、介護予防にとっても効果的です。ネタ探しで介護予防、川柳に挑戦しませんか。



*²⁷ 保健福祉サービス（ほけんふくしサービス） 138 ページ参照

3 実態調査結果

(1) 調査の概要

調査対象	① 高齢者意識調査 (本市在住の65歳以上の方で介護保険の認定を受けていない方) ② 要支援・要介護認定者調査 (本市在住の65歳以上の方で介護保険の認定を受けている方)
調査方法	無記名自記式 郵送配布・郵送回収
調査期間	平成29年5月25日～6月19日
配布数	① 配布数：800件 有効回収数：566件 有効回収率：70.8%
回収数	② 配布数：800件 有効回収数：454件 有効回収率：56.8%

(2) 主な調査結果

- 以下の調査結果では、高齢者意識調査は「高齢者調査」、要支援・要介護認定者調査は「認定者調査」と表記しています。
- グラフ中の「n」は回答者の人数を表しています。
- なお、データの処理については、小数点以下第2位の四捨五入により、各項目の合計値が、100.0%にならない場合があります。

① 回答者の年齢と性別

- 【年齢】高齢者調査では、前期高齢者（「65～69歳」、「70～74歳」の計）は56.2%、後期高齢者（「75～79歳」、「80～84歳」、「85歳以上」の計）の割合は42.1%となっています。（平均年齢：74.1歳）
認定者調査では後期高齢者が86.6%と大半を占めています。（平均年齢：83.3歳）
- 【性別】高齢者調査では、「男性」が48.2%、「女性」が50.7%で、ほぼ二分しています。
認定者調査では、「男性」が34.4%、「女性」が65.4%で、女性の方が多くなっています。

図表2-14 回答者の年齢と性別

	◆年齢	《前期高齢者》					《後期高齢者》				◆性別	(%)
		回答数	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	男性	女性		
高齢者		566	27.9	28.3	22.8	12.2	7.1	1.8	48.2	50.7	1.1	
認定者		454	4.4	8.4	16.1	24.7	45.8	0.7	34.4	65.4	0.2	

※「年齢」：網かけは上位2項目

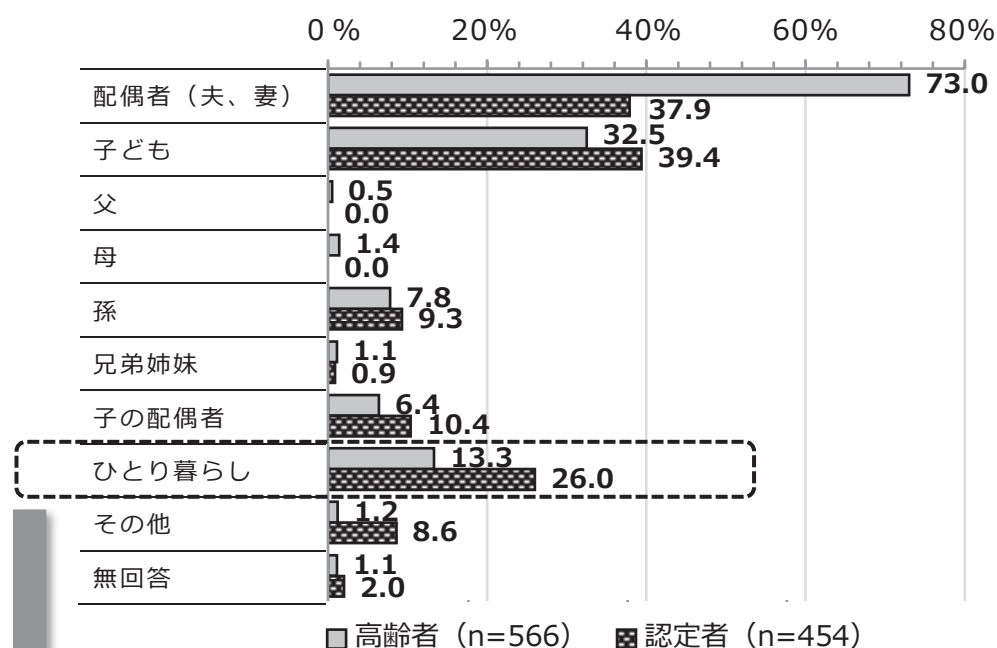
② 現在の同居者（複数回答）

高齢者調査では、「配偶者（夫、妻）」が73.0%と特に多く、次いで「子ども」が32.5%となっています。

認定者調査では、「子ども」（39.4%）、「配偶者（夫、妻）」（37.9%）が3割台となっています。

「ひとり暮らし」の回答は、高齢者調査で13.3%、認定者調査は26.0%となっています。

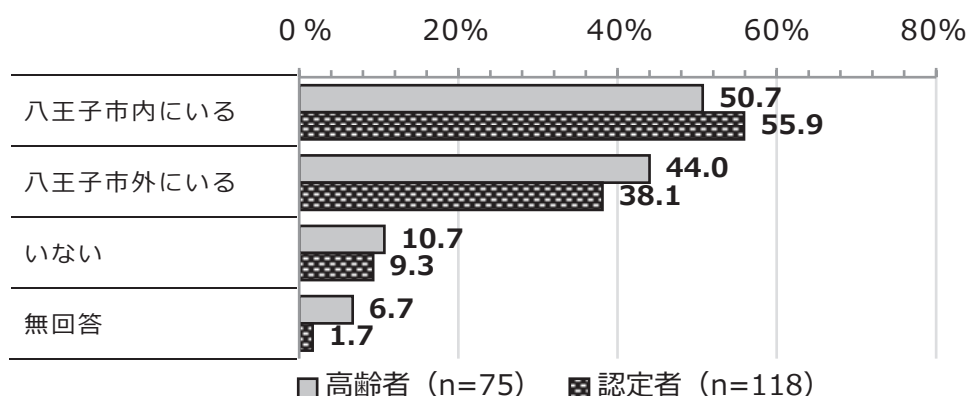
図表2-15 現在の同居者（複数回答）



③ 緊急時などに駆けつけてくれる方（複数回答）

現在、ひとり暮らしの方に、緊急時などに駆けつけてくれる方の有無を聞きました。市内外を問わず「いる」（全体から「いない」と「無回答」の割合を除外）はどちらの調査でも8割以上となっています。市内外で見ると、「市内にいる」は高齢者調査が50.7%、認定者調査が55.9%、「市外にいる」は高齢者調査が44.0%、認定者調査は38.1%となっています。

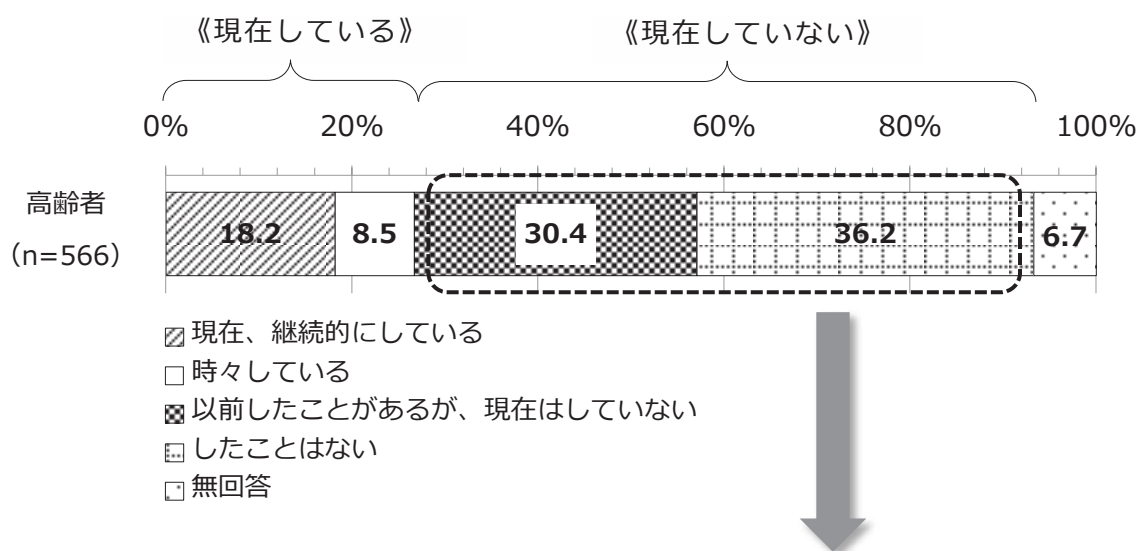
図表2-16 緊急時などに駆けつけてくれる方（複数回答）



④ 地域活動やボランティア活動等の実施状況（高齢者調査）

活動等を《現在している》（「現在、継続的にしている」、「時々している」の計）は26.7%となっています。一方、《現在していない》（「したことはない」、「以前したことがあるが、現在はしていない」の計）は66.6%となっています。

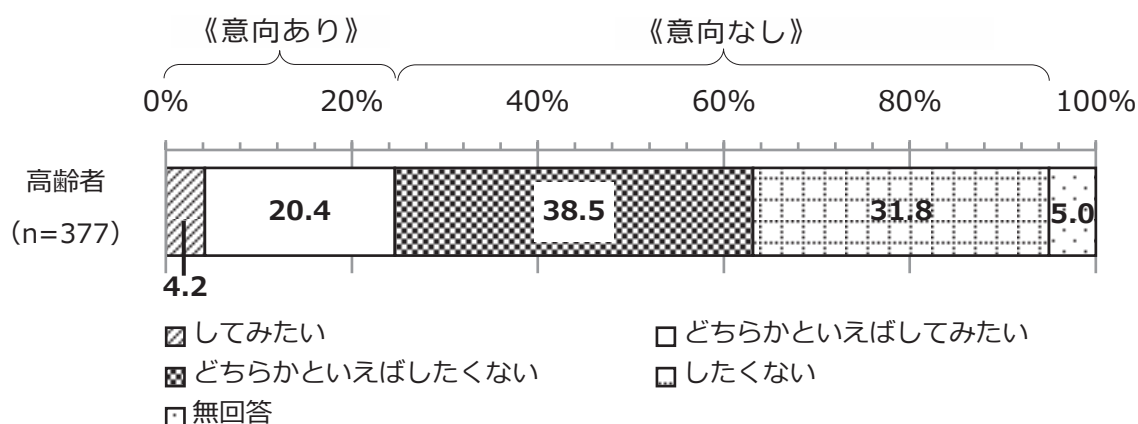
図表2-17 地域活動やボランティア活動等の実施状況（高齢者調査）



⑤ 地域活動やボランティア活動等への参加意向（高齢者調査）

現在活動をしていない方の参加意向としては、《意向あり》（「してみたい」、「どちらかといえばしてみたい」の計）は24.6%となっています。一方、《意向なし》（「したくない」、「どちらかといえばしたくない」の計）は70.3%となっています。

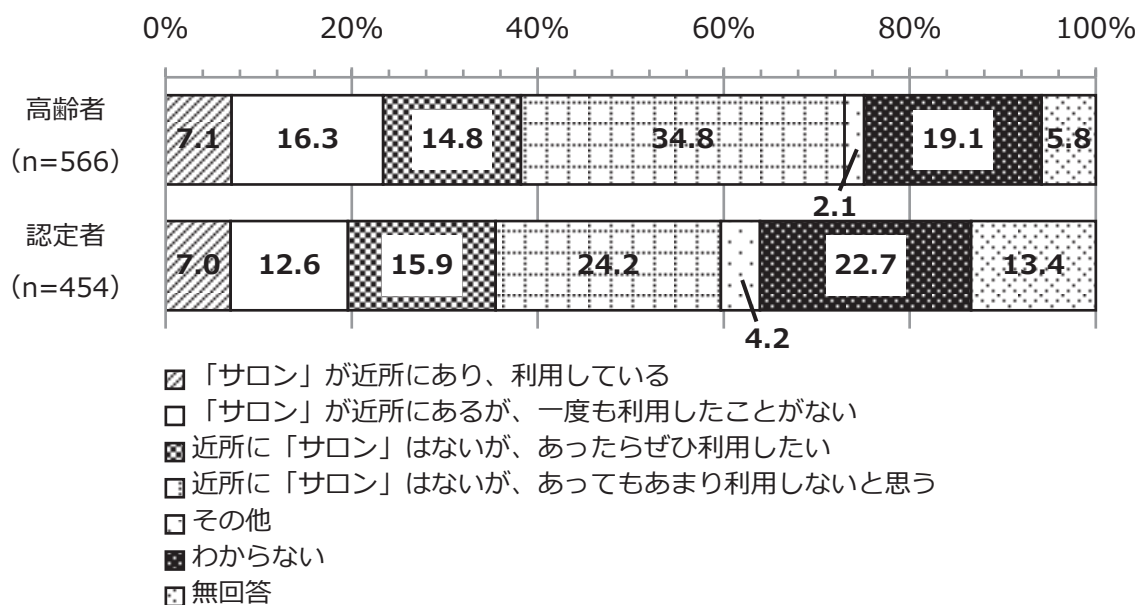
図表2-18 地域活動やボランティア活動等への参加意向（高齢者調査）



⑥ 高齢者向けサロンの利用意向

「サロンが近所にあり、利用している」は1割未満となっています。「近所にサロンはないが、あったらぜひ利用したい」は高齢者調査で14.8%、認定者調査で15.9%となっています。「近所にサロンはないが、あっても利用しないと思う」は高齢者調査で34.8%、認定者調査で24.2%となっています。

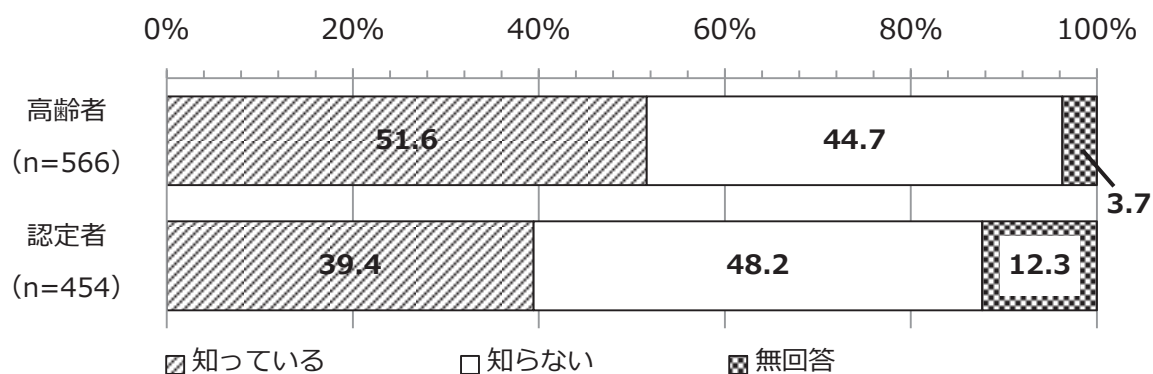
図表2-19 高齢者向けサロンの利用意向



⑦ 市内にあるシニアクラブ（老人クラブ）の認識

「知っている」は、高齢者調査で51.6%、認定者調査で39.4%となっています。

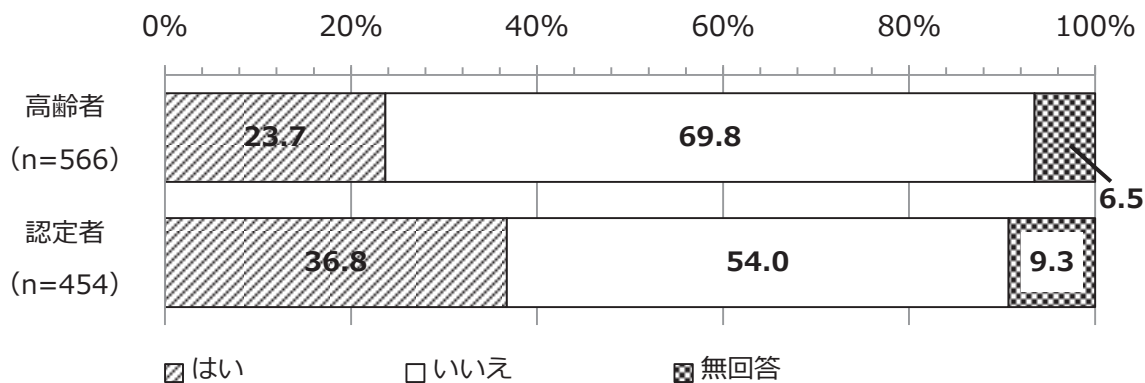
図表2-20 市内にあるシニアクラブ（老人クラブ）の認識



⑧ 日中家にひとりでいること

土日・祝日などで家族が家にいる場合を除き、日中家にひとりでいることが多い（「はい」）ケースは、高齢者調査で23.7%、認定者調査で36.8%となっています。

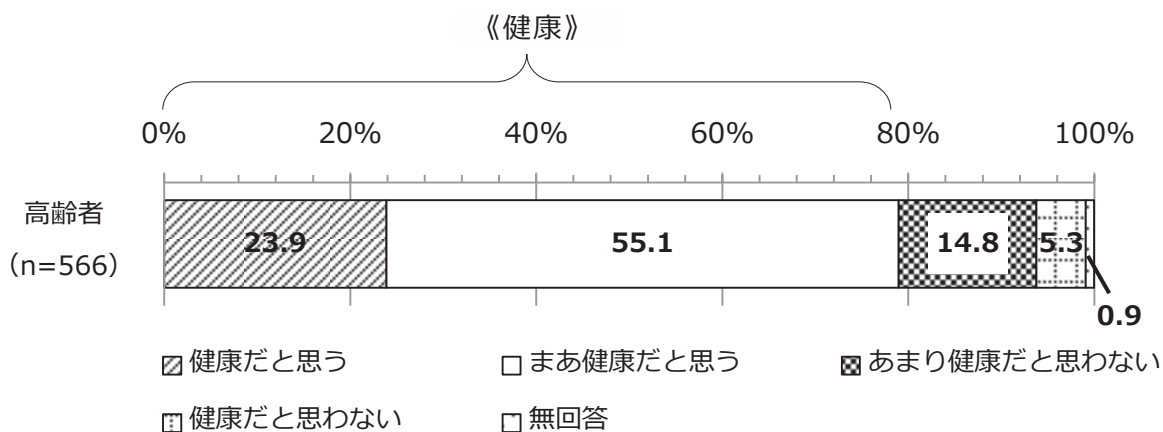
図表 2 - 21 日中家にひとりでいること



⑨ 健康状態（高齢者調査）

半数以上の人自身が「まあ健康だと思う」（55.1%）と回答しており、「健康」（「健康だと思う」、「まあ健康だと思う」の計）は79.0%となっています。

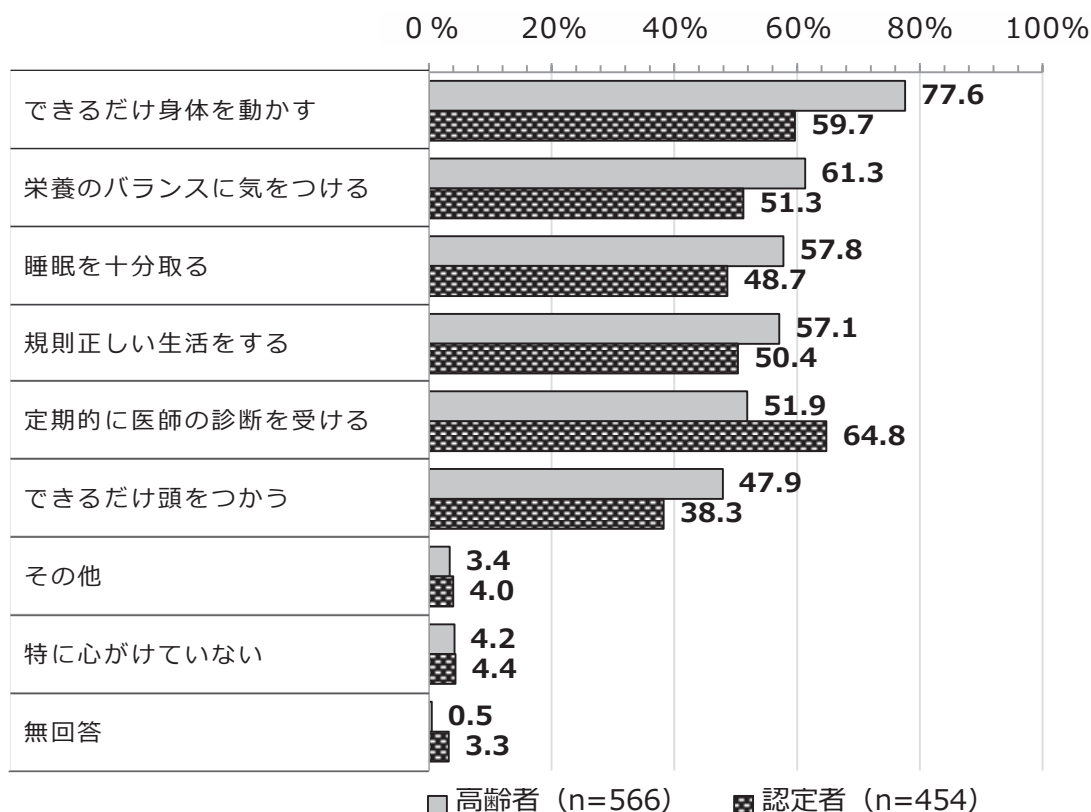
図表 2 - 22 健康状態（高齢者調査）



⑩ 健康のために日ごろから心がけていること（複数回答）

どちらの調査でも健康のために何かしら実行しており、高齢者調査では「できるだけ身体を動かす」が77.6%、認定者調査では「定期的に医師の診断を受ける」が64.8%で最も多くなっています。

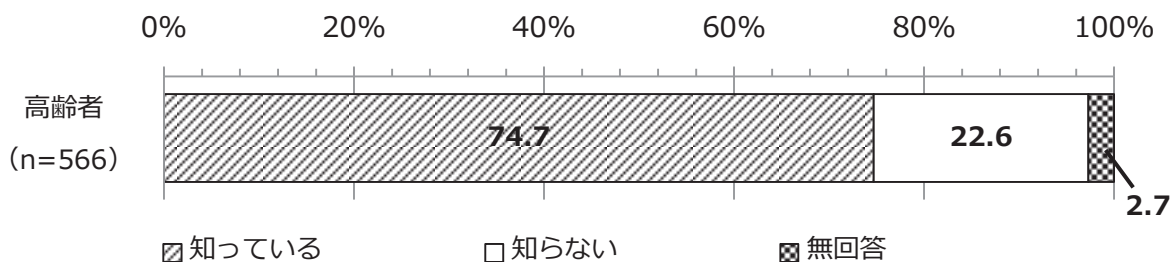
図表 2 - 23 健康のために日ごろから心がけていること（複数回答）



⑪ 八王子市シルバー人材センターの認識（高齢者調査）

「知っている」は、74.7%となっています。

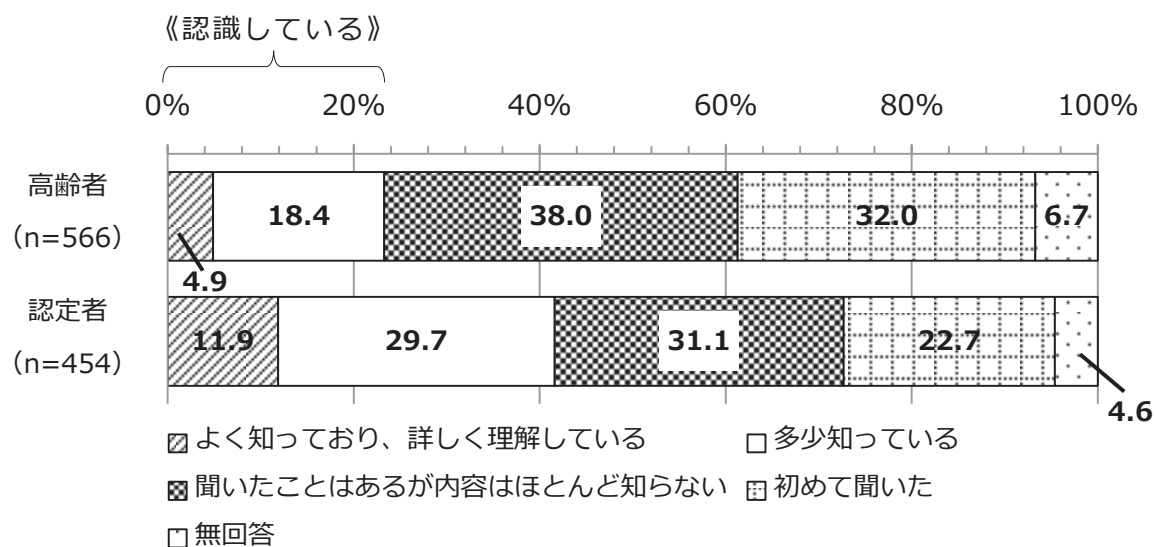
図表 2 - 24 八王子市シルバー人材センターの認識（高齢者調査）



⑫ 地域包括ケアシステムの認識

《認識している》（「よく知っており、詳しく理解している」と「多少知っている」の計）は高齢者調査で23.3%、認定者調査で41.6%となっています。

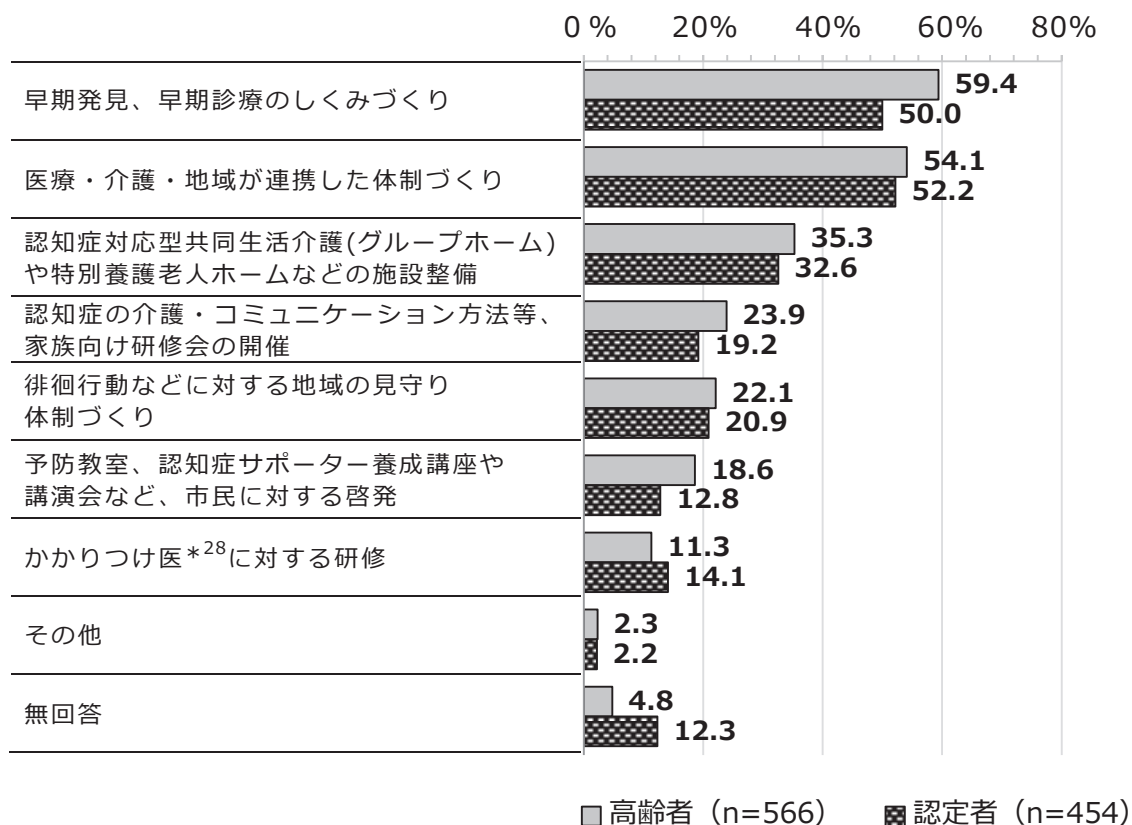
図表2-25 地域包括ケアシステムの認識



⑬ 認知症対策を進めていく上で重点を置くべきこと（複数回答）

どちらの調査とも「早期発見、早期診療のしくみづくり」、「医療・介護・地域が連携した体制づくり」が5割台と多くなっています。

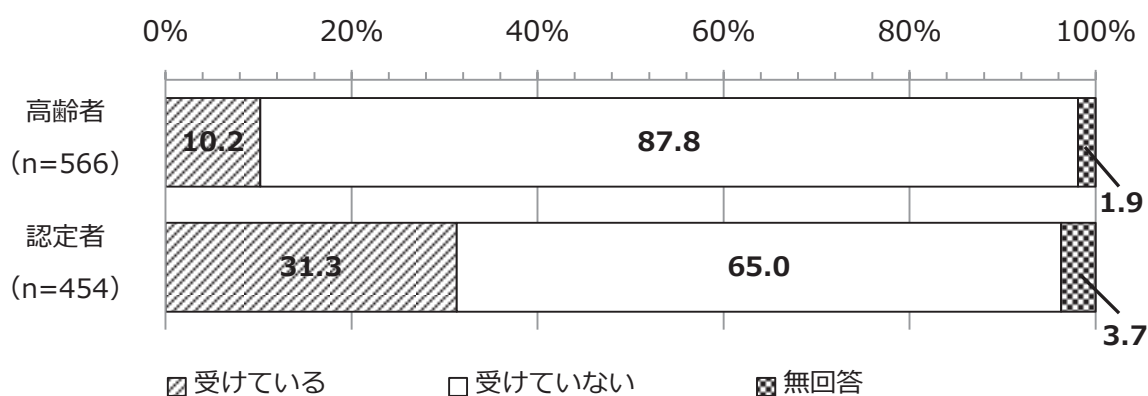
図表 2-26 認知症対策を進めていく上で重点を置くべきこと（複数回答）



⑭ 医師による訪問診療または往診

「受けている」は、高齢者調査で10.2%、認定者調査で31.3%となっています。

図表 2-27 医師による訪問診療または往診

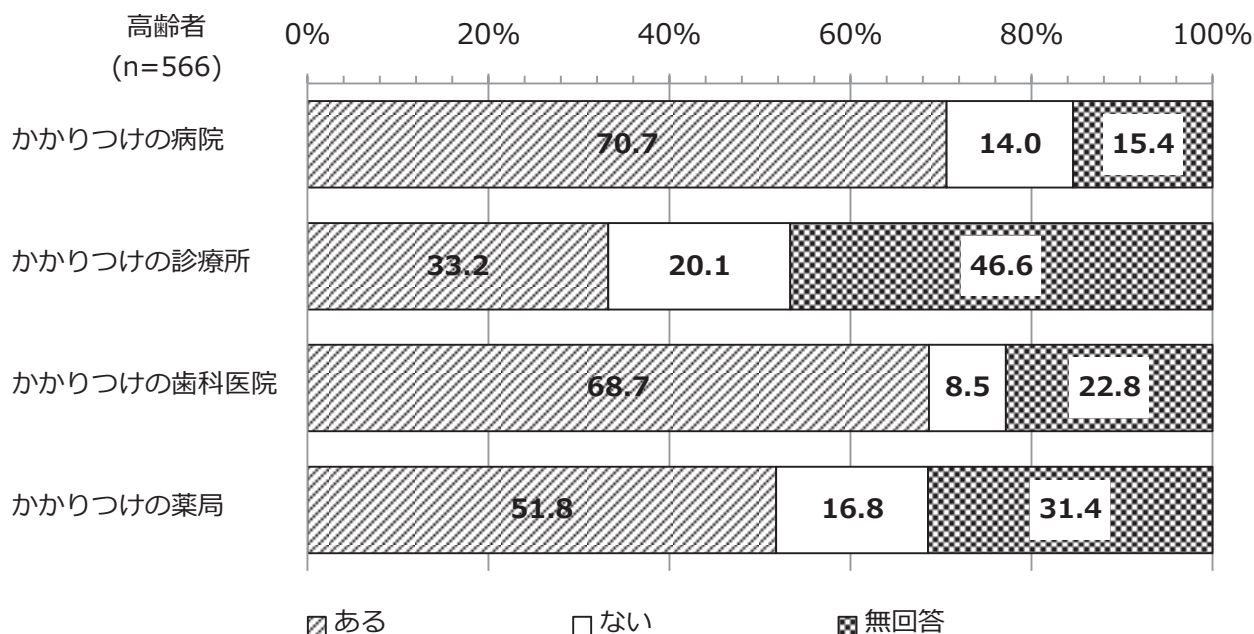


*²⁸ かかりつけ医（かかりつけい） 134 ページ参照

⑮ かかりつけの医療機関（高齢者調査）

「ある」は病院、歯科医院ともに7割前後と多く、薬局も51.8%となっています。

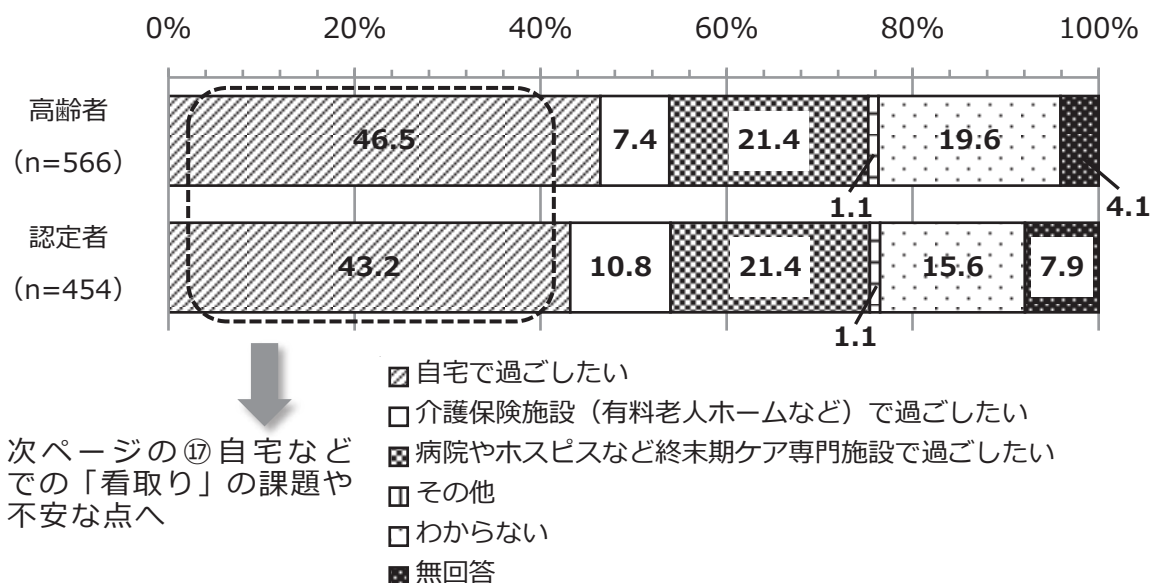
図表 2-28 かかりつけの医療機関（高齢者調査）



⑯ 終末期を過ごしたい場所

「自宅で過ごしたい」が最も多くなっており、高齢者調査で46.5%、認定者調査では43.2%となっています。次いで「病院やホスピス*²⁹など終末期ケア専門施設で過ごしたい」がどちらの調査とも21.4%となっています。

図表 2-29 終末期を過ごしたい場所

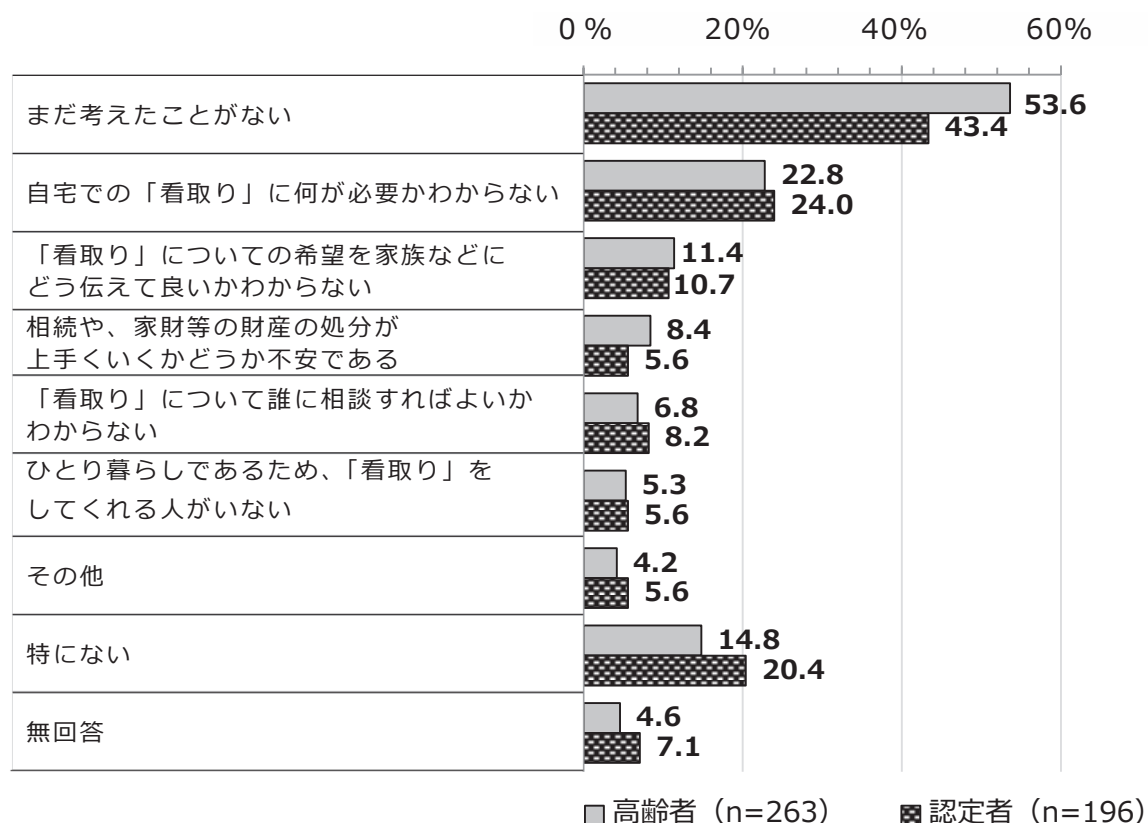


*²⁹ ホスピス（ほすぴす） 138 ページ参照

⑰ 自宅などでの「看取り」の課題や不安な点（複数回答）

終末期を自宅で過ごしたいとする人に、自宅などで「看取り」を迎える場合の課題や不安な点を聞きました。「まだ考えたことがない」が最も多く、高齢者調査で53.6%、認定者調査で43.4%となっています。次いで「自宅での看取りに何が必要かわからない」が、高齢者調査で22.8%、認定者調査で24.0%となっています。

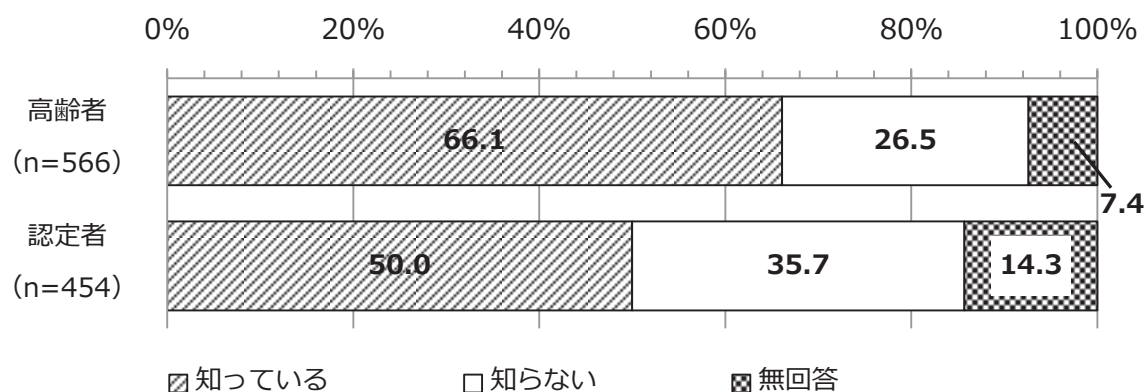
図表 2 - 30 自宅などでの「看取り」の課題や不安な点（複数回答）



⑱ 成年後見制度の認識

「知っている」は、高齢者調査で66.1%、認定者調査で50.0%となっています。

図表 2 - 31 成年後見制度の認識

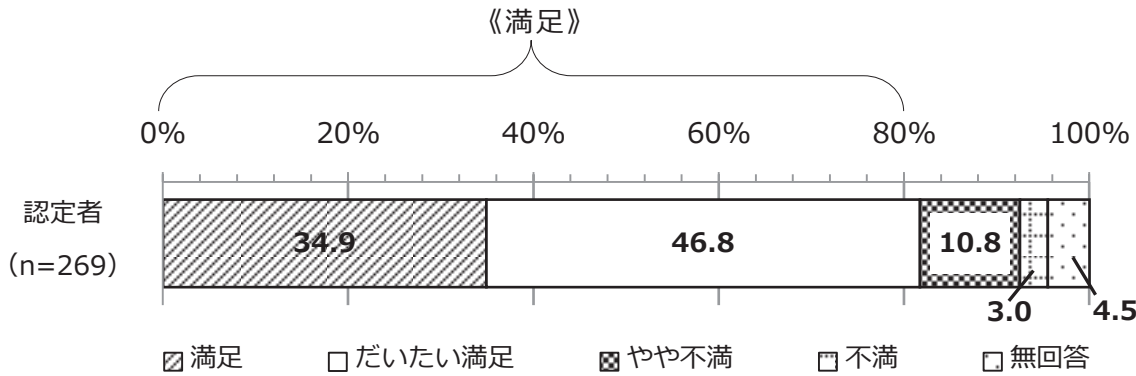


⑭ 介護保険サービス関連の満足度（認定者調査）

1. 現在利用中の介護保険サービス（※介護保険サービス利用者）

「満足」が34.9%、「だいたい満足」が46.8%で、これをあわせた《満足》は81.7%となっています。

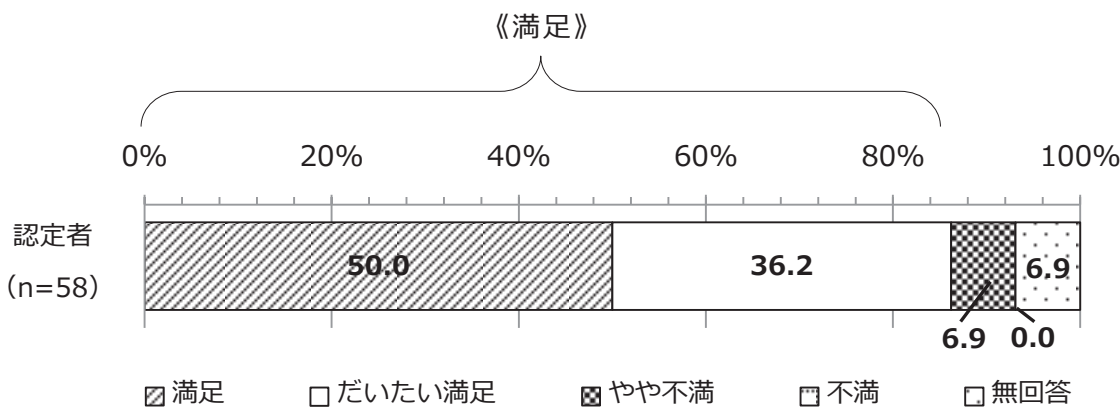
図表 2 - 32 現在利用中の介護保険サービス（※介護保険サービス利用者）



2. 現在の入所施設（※入所施設サービス利用者）

「満足」が50.0%、「だいたい満足」が36.2%で、これをあわせた《満足》は86.2%となっています。

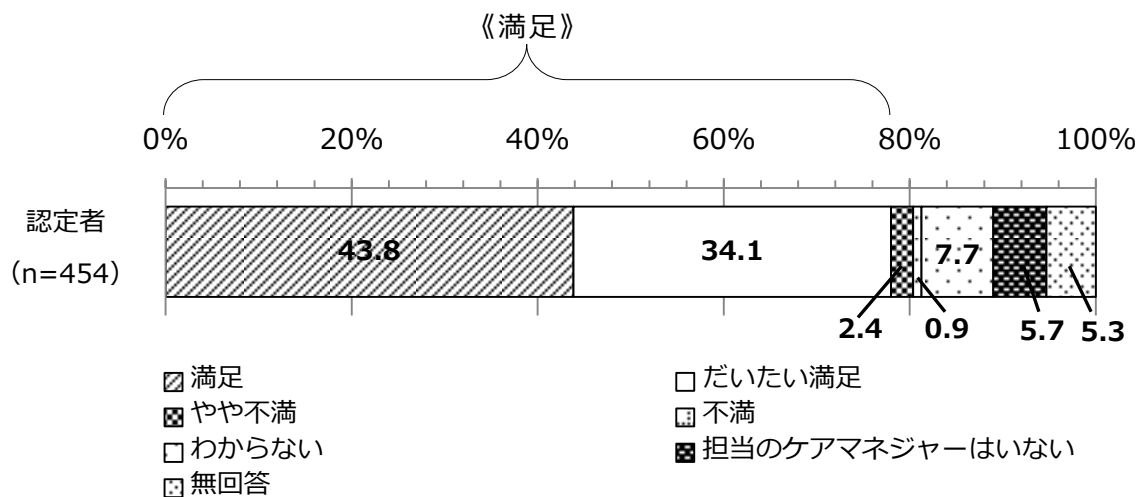
図表 2 - 33 現在の入所施設（※入所施設サービス利用者）



3. ケアプラン*³⁰作成を担当しているケアマネジャー*³¹の対応

「満足」が43.8%、「だいたい満足」が34.1%で、これをあわせた《満足》は77.9%となっています。

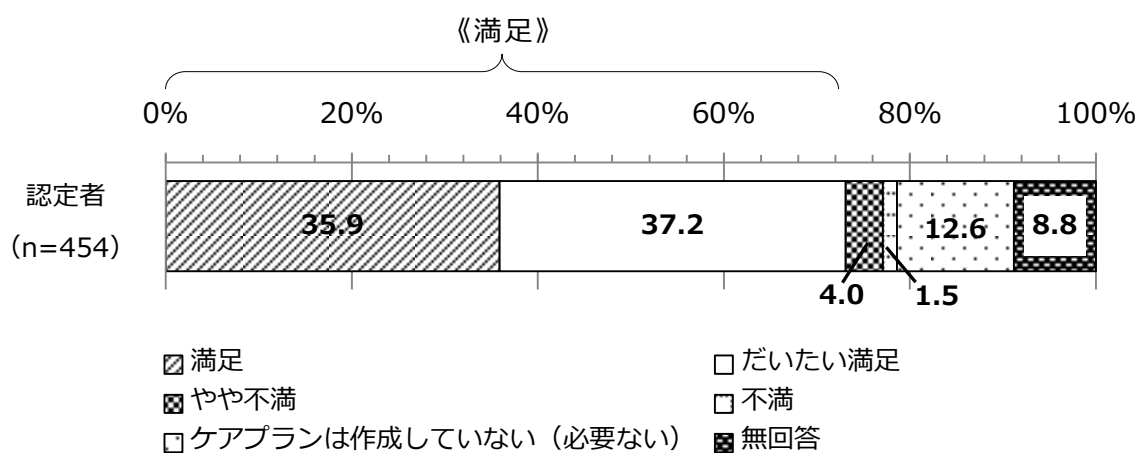
図表 2 - 34 ケアプラン作成を担当しているケアマネジャーの対応



4. 現在のケアプランの内容

「満足」は35.9%、「だいたい満足」は37.2%で、これをあわせた《満足》は73.1%となっています。

図表 2 - 35 現在のケアプランの内容



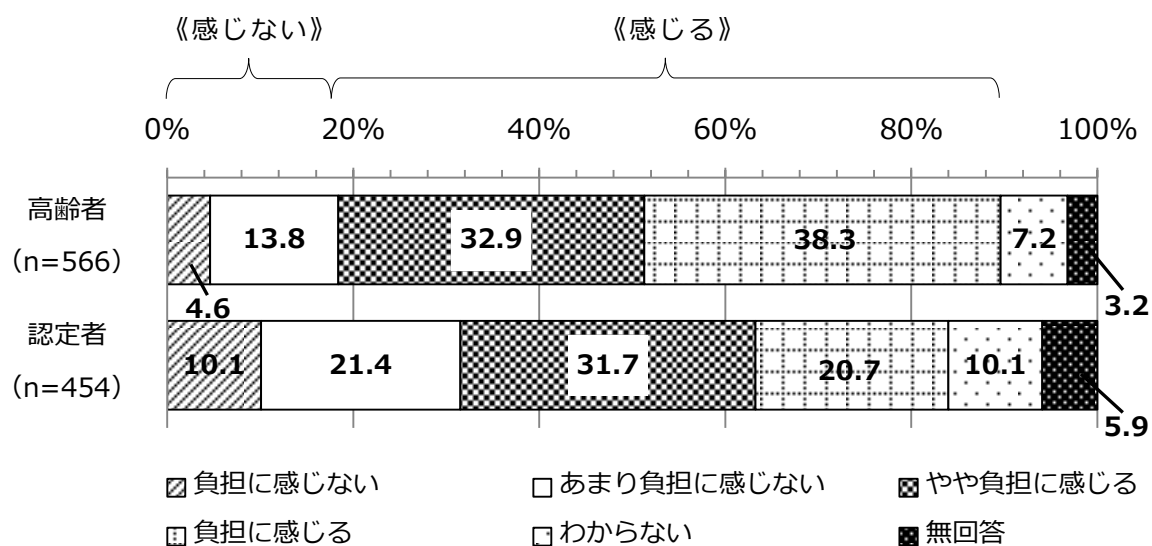
*³⁰ ケアプラン (けあぷらん) 134 ページ参照

*³¹ ケアマネジャー (けあまねじゃー) 135 ページ (介護支援専門員) 参照

② 介護保険料の負担感

保険料を負担に《感じない》（「負担に感じない」、「あまり負担に感じない」の計）は高齢者調査では18.4%、認定者調査では31.5%となっています。一方、《感じる》（「負担を感じる」、「やや負担を感じる」の計）は高齢者調査で71.2%、認定者調査で52.4%となっています。

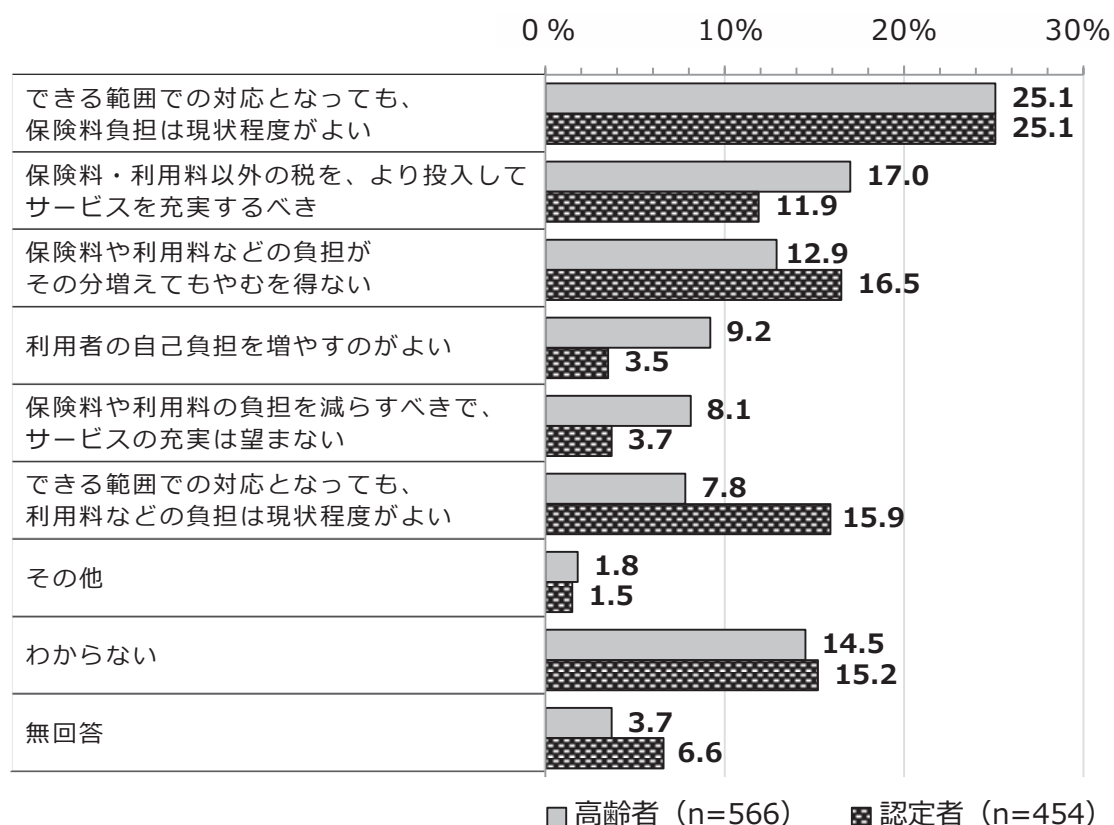
図表 2 - 36 介護保険料の負担感



②① 介護保険サービス充実のための費用負担増についての考え

超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについては、どちらの調査とも約4人に1人が「できる範囲での対応となっても、保険料負担は現状程度がよい」としています。次いで高齢者調査では「保険料・利用料以外の税を、より投入してサービスを充実するべき」（17.0%）、認定者調査では「保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない」（16.5%）となっています。

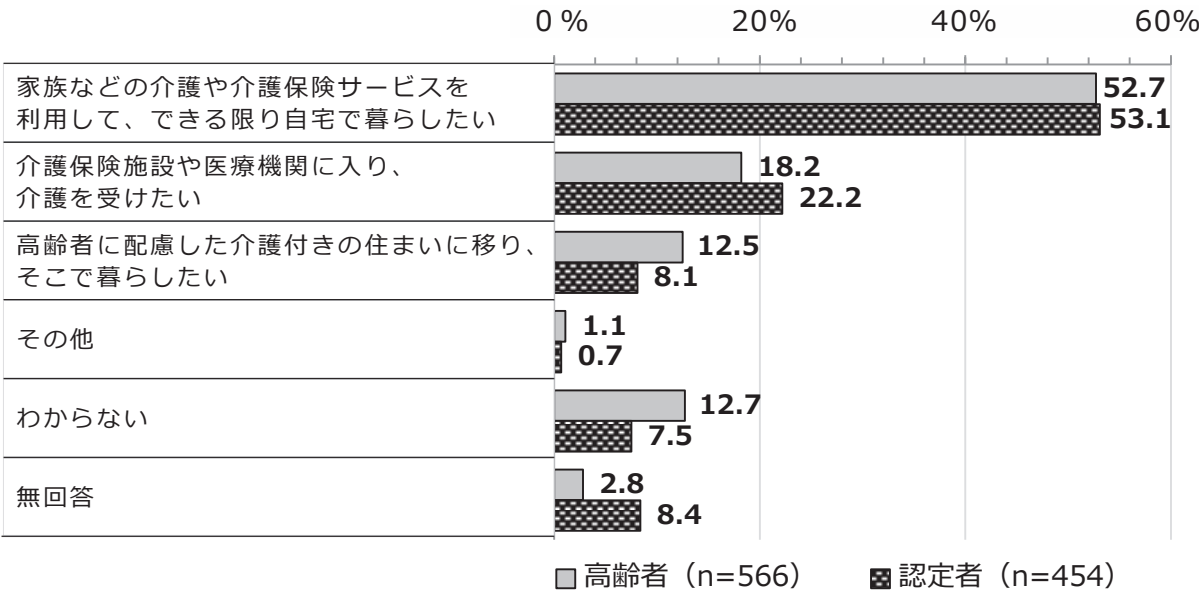
図表2-37 介護保険サービス充実のための費用負担増についての考え



② 今後、希望する介護形態

「家族などの介護や介護保険サービスを利用して、できる限り自宅で暮らしたい」が最も多く、高齢者調査で52.7%、認定者調査で53.1%と半数以上となっています。

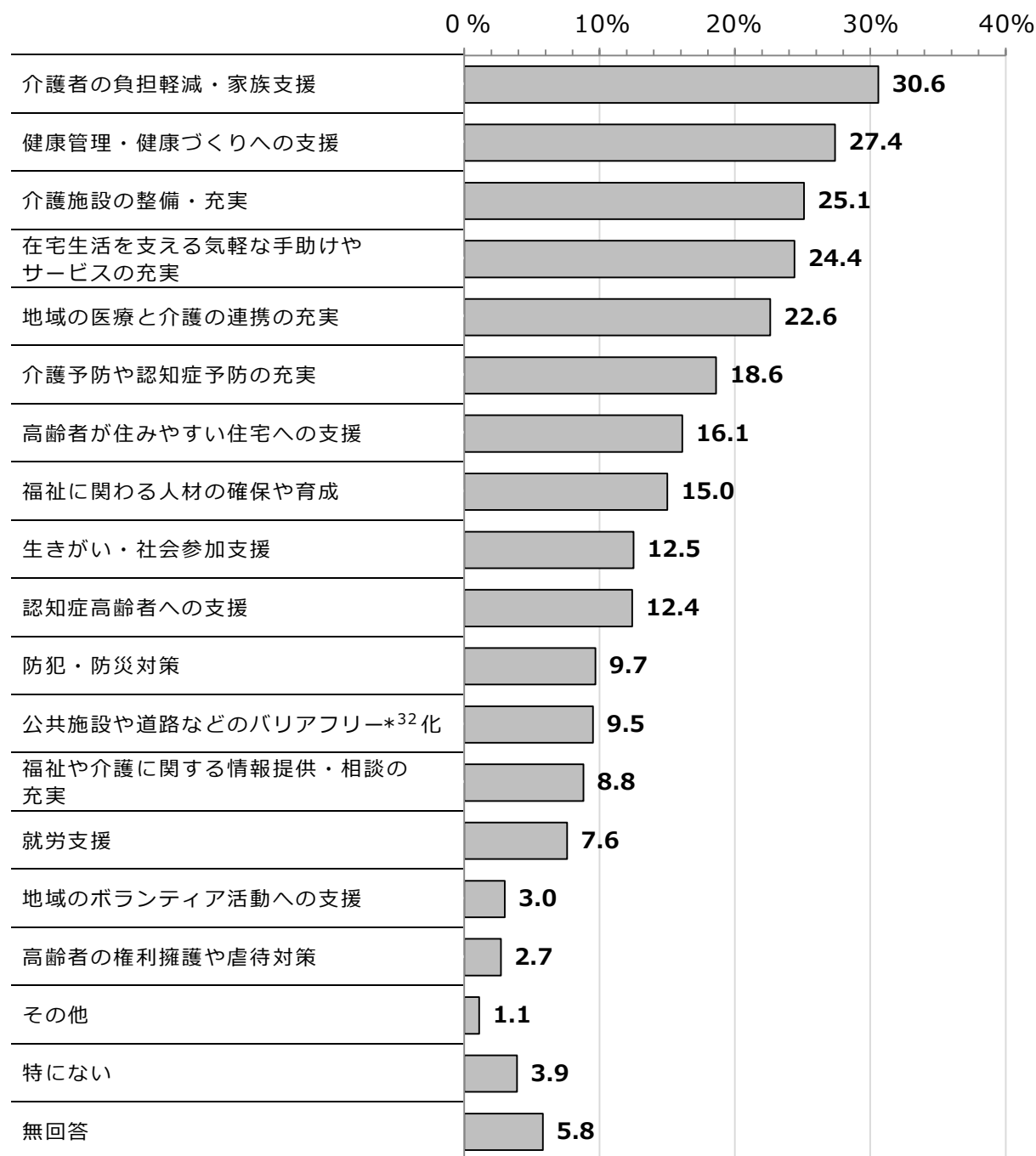
図表 2 - 38 今後、希望する介護形態



② 市に今後力を入れてほしい高齢者施策（複数回答／高齢者調査）

「介護者の負担軽減・家族支援」が30.6%と、本人よりも介護者のための施策を希望する声が多くなっています。次いで「健康管理・健康づくりへの支援」（27.4%）、「介護施設の整備・充実」（25.1%）、「在宅生活を支える気軽な手助けやサービスの充実」（24.4%）、「地域の医療と介護の連携の充実」（22.6%）が2割台となっています。

図表 2 - 39 市に今後力を入れてほしい高齢者施策（複数回答／高齢者調査）



■ 高齢者 (n=566)

*³² バリアフリー（ばりあふりー） 138 ページ参照

4 第6期計画の取組と評価

(1) 第6期計画の事業評価

『第6期計画』で示した105の取組について、進行状況や実績を検証し、本市で統一した基準で実施している「事務事業評価（行政評価）」の評価基準にあわせて、下表のとおり4段階の基準で評価しました。

図表2-40 事業評価の判断基準

評価	判断基準
A	事業活動を計画以上に実施することができた
B	事業活動を計画どおり実施した
C	事業活動が計画よりやや下回った
D	事業を執行しなかった（できなかった）

図表2-41 施策項目別 事業評価

	施策項目	評価				取組 評価数
		A	B	C	D	
1 地域で生きがいを持ち、生き 生きと暮らす	1-1 地域のみんなで支えあうために	6	9	2	0	17
	1-2 生きがいを持ち自立して生活するために	0	17	2	0	19
2 住み慣れた地域で安心して 暮らし続ける	2-1 安全で権利が尊重される生活のために	2	4	1	0	7
	2-2 認知症になっても安心して生活を続けるために	1	9	0	0	10
	2-3 安心して介護を行うために	1	8	0	0	9
	2-4 心身ともに自立した健康な暮らしのために	1	14	0	0	15
	2-5 在宅で安心して暮らし続けるために	0	23	2	0	25
3 利用者の自立を支える介護 保険サービスの安定した提 供	3-1 わかりやすく、よりよい介護保険サービスを提供するしくみづくり	0	14	1	0	15
	3-2 健全な介護保険制度運営のしくみづくり	1	13	0	0	14
	3-3 介護保険施設の適正な配置と運営のしくみづくり	0	0	1	0	1
合計		12	111	9	0	132

資料：福祉部高齢者いきいき課（平成29年9月末時点）

※複数所管による取組はそれぞれで評価したため、合計と取組数は一致しません。

(2) 数値目標の達成状況

『第6期計画』で示した105の取組のうち、数値目標を定めた項目の主な達成状況は下記の表のとおりです。

1 地域で生きがいを持ち、生き活きと暮らす

図表2-42 数値目標の達成状況

取組	内容	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度 (見込み)	計画 期間中 の目標
地域交流サロンの支援	団体数	113 団体	132 団体	145 団体	140 団体
シニア元気応援ハンドブックの活用	延べ 発行部数	3 万部	3 万部	5 万部	5 万部
八王子市シルバー人材センターの支援	会員数	2,366 人	2,441 人	2,535 人	2,650 人

2 住み慣れた地域で安心して暮らし続ける

図表2-43 数値目標の達成状況

取組	内容	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度 (見込み)	計画 期間中 の目標
認知症高齢者ネットワーク会議の開催	会議開催	1 回	3 回	3 回	年1回 以上開催
認知症サポーターの養成	延べ 養成者数	26,071 人	30,232 人	33,000 人	25,000 人
高齢者あんしん相談センターの充実	センター 数	15 センター	16 センター	17 センター	17 センター

3 利用者の自立を支える介護保険サービスの安定した提供

図表 2 - 44 数値目標の達成状況

取組	内容	整備数	計画期間中の目標	目標達成状況
地域密着型サービスの整備	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	△1
	小規模多機能型居宅介護	3	7	△4
	認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	0	1	△1
	地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	1	3	△2
	看護小規模多機能型居宅介護	2	3	△1

資料：福祉部高齢者いきいき課（平成 29 年 12 月末時点）

（3）評価のまとめ

事業評価結果の全体を見ると「A 事業活動を計画以上に実施することができた」、「B 事業活動を計画どおり実施した」と評価した取組が123事業で、全体の約93%を占めています。評価が「C 事業活動が計画よりやや下回った」と評価した9事業については、事業の見直しを行い効果的な事業運営を行っていきます。

数値目標の主な達成状況については、「地域交流サロンの支援」、「認知症高齢者ネットワーク会議の開催」、「認知症サポーターの養成」は目標を上回る結果となり、「シニア元気応援ハンドブックの活用」、「高齢者あんしん相談センターの充実」は目標達成ができました。

一方、「八王子市シルバー人材センターの支援」は会員数が毎年増加傾向にあるものの目標を下回る結果となっています。また、「地域密着型サービスの整備」については建築費の高騰や介護人材の不足もあり、地域密着型介護老人福祉施設は1か所の整備にとどまりました。

しかしながら、シルバー人材センターの契約額などは増加しており、施設整備についても、市内初となる看護小規模多機能型居宅介護が2か所開設されたほか、定期巡回・随時対応型訪問介護看護も新たに1か所整備が進んでいます。

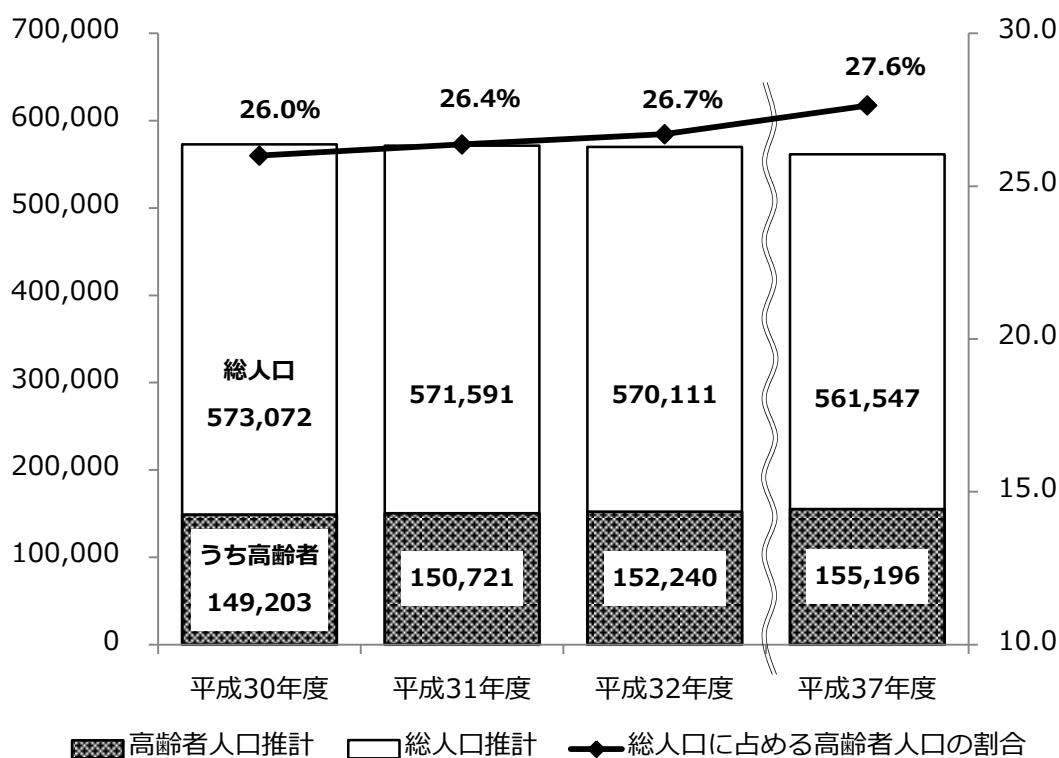
以上のことから、『第6期計画』で示した取組は、一部は計画どおりに実施できなかったものの、全体としては概ね順調に推進することができたと言えます。

5 将来推計

(1) 将来人口の推計

本市の平成37年度（2025年度）までの人口推計によると、総人口はゆるやかな減少を示し、平成30年度以降は約57万人台で推移しますが、そのうち高齢者の人口は、平成30年度（2018年度）から平成37年度（2025年度）までで約6千人増加すると推測されます。

図表2-45 将来人口の推計



資料：総合経営部『八王子ビジョン2022』2018基本計画改定版〔単位：人〕

図表2-46 総人口と高齢者人口の推計

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成37年度
総人口	573,072	571,591	570,111	561,547
高齢者人口	149,203	150,721	152,240	155,196
うち 前期高齢者人口	76,989	76,265	75,540	63,172
うち 後期高齢者人口	72,214	74,456	76,700	92,024
総人口に占める 高齢者人口の割合	26.0%	26.4%	26.7%	27.6%

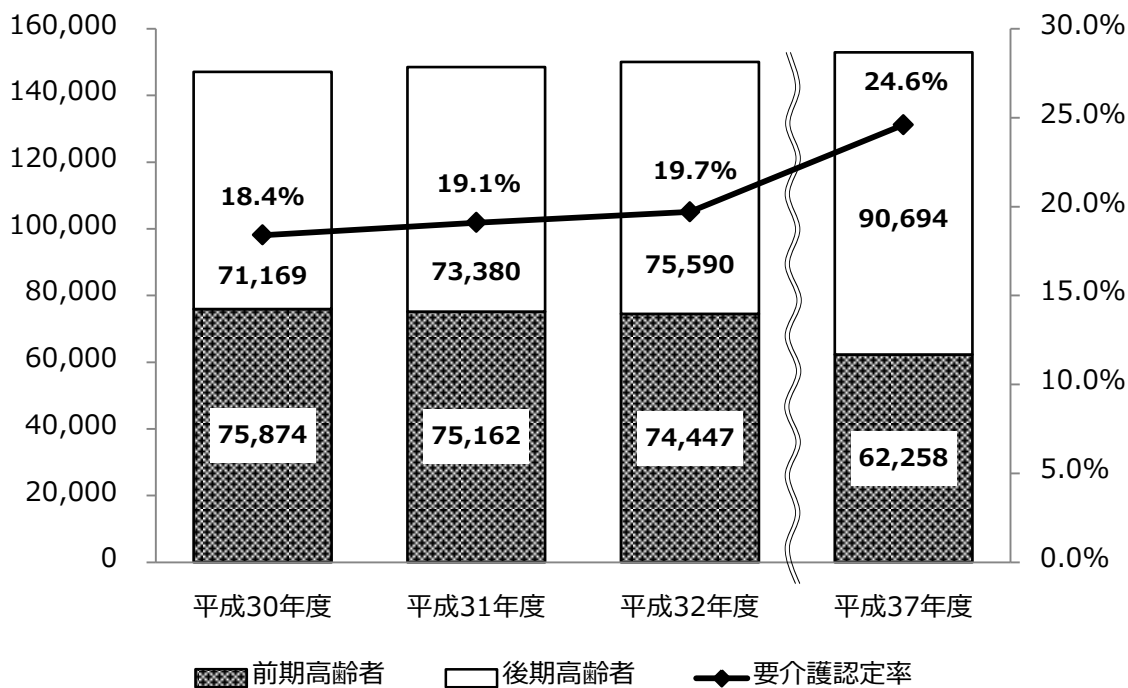
資料：総合経営部『八王子ビジョン2022』2018基本計画改定版〔単位：人〕

(2) 要支援・要介護認定者数の推計

○第1号被保険者数はゆるやかに増加を続け、とりわけ75歳以上の後期高齢者では平成30年度（2018年度）から平成37年度（2025年度）で顕著に増加すると推計されます。

○後期高齢者の増加に伴い、要支援・要介護認定者数の割合も平成30年度（2018年度）の18.4%から平成37年度（2025年度）には24.6%に増加すると推計されます。

図表2-47 第1号被保険者*³³数と要介護認定率の推計



資料：福祉部介護保険課〔単位：人〕

図表2-48 第1号被保険者数と要支援・要介護認定者数の推計

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成37年度
第1号被保険者数	147,043	148,542	150,037	152,952
うち 前期高齢者数	75,874	75,162	74,447	62,258
うち 後期高齢者数	71,169	73,380	75,590	90,694
要支援・要介護認定者数	27,105	28,311	29,526	37,599
要介護認定率	18.4%	19.1%	19.7%	24.6%

資料：福祉部介護保険課〔単位：人〕

※要介護認定者数は第2号被保険者を除く。

*³³ 第1号被保険者（だいいちごうひほけんしゃ） 136 ページ参照

(3) 圏域別人口の推計

○いずれの圏域もゆるやかに総人口は減少し、高齢者数は増加すると推測されます。

○平成37年度(2025年度)における高齢者の割合は中野、めじろ台、長沼、川口、元八王子、長房、もとはち南、恩方で3割台となっています。

図表2-49 圏域別人口の推計

日常生活圏域	平成32年(2020年)			平成37年(2025年)		
	推計 総人口	推計 65歳以上 人口	高齢者の 割合	推計 総人口	推計 65歳以上 人口	高齢者の 割合
(1) 旭町	26,896	6,087	22.6%	26,492	6,205	23.4%
(2) 高尾	27,752	7,840	28.3%	27,335	7,992	29.2%
(3) 左入	15,041	4,272	28.4%	14,815	4,355	29.4%
(4) 中野	25,993	8,000	30.8%	25,603	8,156	31.9%
(5) 南大沢	56,180	10,831	19.3%	55,335	11,041	20.0%
(6) めじろ台	25,419	8,042	31.6%	25,037	8,198	32.7%
(7) 長沼	38,193	12,220	32.0%	37,619	12,456	33.1%
(8) 川口	29,356	9,298	31.7%	28,915	9,478	32.8%
(9) 元八王子	24,197	7,626	31.5%	23,834	7,775	32.6%
(10) 片倉	44,640	8,509	19.1%	43,969	8,674	19.7%
(11) 堀之内	36,009	6,852	19.0%	35,469	6,985	19.7%
(12) 長房	18,959	6,761	35.7%	18,674	6,892	36.9%
(13) 子安	26,902	6,672	24.8%	26,498	6,801	25.7%
(14) もとはち南	28,212	9,029	32.0%	27,789	9,205	33.1%
(15) 寺田	29,520	8,409	28.5%	29,077	8,572	29.5%
(16) 大横	13,382	3,512	26.2%	13,181	3,581	27.2%
(17) 恩方	16,939	6,044	35.7%	16,684	6,162	36.9%
(18) 由木東	19,629	5,542	28.2%	19,334	5,649	29.2%
(19) 小宮	33,664	8,320	24.7%	33,158	8,482	25.6%
(20) 元本郷	15,310	4,065	26.6%	15,080	4,144	27.5%
(21) 大和田	17,918	4,309	24.1%	17,649	4,393	24.9%
合計	570,111	152,240	26.7%	561,547	155,196	27.6%

資料：福祉部高齢者福祉課〔単位：人〕

※高齢者の割合の網かけは、30%以上の圏域を示しています。